BOSE®

OWNER'S MANUAL

ウェーブレディオ

取扱説明書

この度はウェーブレディオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう保管しておいてください。

ウェーブレディオ 取扱説明書

※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

目　次

安全上の留意項目 …… 4
開梱時のご注意 …… 6
設置場所について …… 6
バックアップ用電池について …… 7
電源コードの接続 …… 7
ウェーブレディオの快適なFM/AM放送の受信について …… 7
現在時刻の設定 …… 9
12、24時間表示の切り換えについて …… 9
表示パネルの明るさの微調整 …… 9
リモコンの使い方 …… 10
外部機器との接続 …… 11
表示パネルについて …… 12
機能 …… 13
　電源ON／OFFのしかた …… 13
　音量調節のしかた …… 14
　ラジオの聴き方 …… 14
　　AM／FMの切り換えについて …… 14
　　選局のしかた …… 15
　　放送局の登録 …… 15
　　登録した放送局の呼び出しのしかた …… 16
　　現在聴いている放送局の確認のしかた …… 16
　時計の機能について …… 16
　　アラーム（ALARM）の時刻の設定 …… 16
　　アラーム（ALARM）のセットおよびアラーム音の設定 …… 17
　　アラーム（ALARM）の確認 …… 17
　　アラーム（ALARM）の解除 …… 17
　　アラーム 2（ALARM 2）の時刻の設定 …… 18
　　アラーム 2（ALARM 2）のセットおよびアラーム音の設定 …… 18
　　アラーム 2（ALARM 2）の確認 …… 19
　　アラーム 2（ALARM 2）の解除 …… 19
　　アラーム音の止め方 …… 19
　　スヌーズ機能について …… 20
　　アラームの音量の設定のしかた …… 21
　　スリープ機能について …… 21
　　スリープ機能の解除のしかた …… 22
仕様 …… 22
故障の場合のお問合わせ先 …… 22
保証 …… 22

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は行為を促す内容を告げるものです。
（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠警告

電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●乾電池は、充電しないでください。電池の破損、液もれにより、火災・感電の原因となります。
	ボタン電池を使用する機器のみ ●この機器に使用しているボタン電池を取り外した場合は,小さなお子様がボタン電池をあやまって飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かないところへおいてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
	●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
	●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警告

通風孔のある機器のみ
●この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。
この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪いところに押し込む。
テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

●この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。
●この機器の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

分解禁止
●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

注意

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
●電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
電池を使用する機器のみ
●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス ＋ と － の向きに注意し、表示通りにいれてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
●おの手入れ際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。
●アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
※送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

●石油化学製品（ビニール、ポリエステル、プラスチックなど）やゴム製品で巻いたり、被せたり、下に敷いたり直接触れないようにしてください。

シンナーなどで拭かないで

●製品は、ときどき柔らかい布でからぶきしてください。シンナー、ベンジン、化学薬品を使用すると表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますので絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

無理な力は加えない

●スイッチやツマミには、無理な力を加えないでください。

音のエチケット

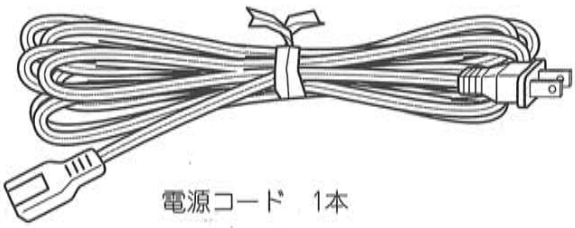
●音量は時や場所に応じて適度な大きさに調整してください。特に、静かな夜間は小さな音でも通りやすいものです。

あなたが放送やCD、テープ、又はビデオディスクや市販のソフトから録音や録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

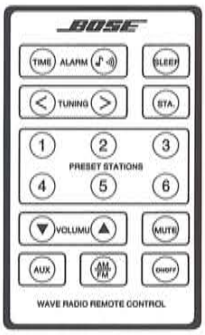
開梱時のご注意

◆付属品を確認してください◆

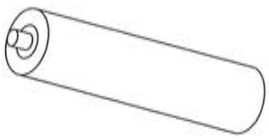
もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店か取扱店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。



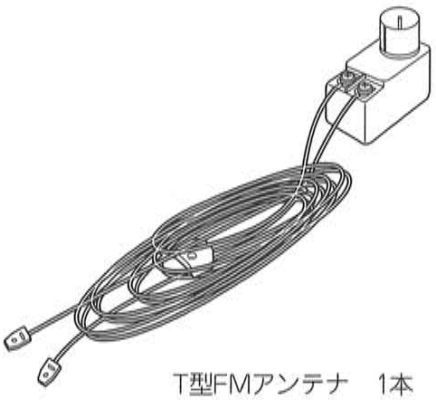
電源コード　1本



リモコン　1台



単3乾電池
（チェック用）　3本



T型FMアンテナ　1本

リモコン用
ボタン電池　1個

設置場所について

●ウェーブレディオはしっかりとしたテーブルなど、平坦な場所に設置してください。製品を金属板の上に置くとラジオの受信感度が低下することがあります。また、ビデオデッキやテレビと接続する際には、ウェーブレディオをテレビの上には置かないでください。テレビの受信や、画面に影響を与えることがあります。

⚠ 注意

このスピーカーは、キャンセリング・マグネット方式による低磁束漏洩になっています。通常のスピーカーは、テレビやモニターなどに近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合がありますが、このスピーカーシステムはテレビやモニターなどへの近接設置の可能なスピーカーです。ただし、テレビやモニターなどへの設置のしかたによっては、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからスピーカーを十分離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、スピーカーをさらにテレビから離してご使用ください。

⚠ 注意

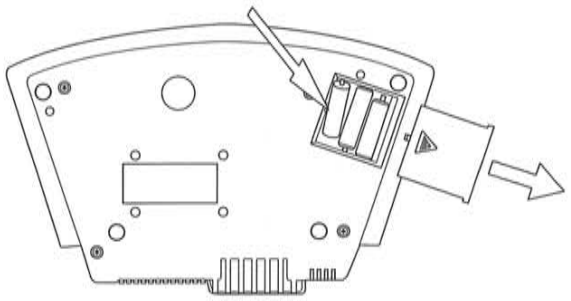
●リモコンと本体受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
●赤外線を発射する機器の近くで使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。また逆に赤外線で操作する他の機器を使用時にこのリモコンを使用すると、その機器を誤動作させることがあります。
●直射日光や、蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコンで操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。

バックアップ用電池について

◆単三電池のセット◆

ウェーブレディオは単三電池により、内蔵メモリーのデータを保持します。また、電源プラグがコンセントから抜かれていたり、停電が起こった場合、約1週間アラーム・システムの機能をバックアップします。AC電源がつながれていない場合、電池の節約のため表示パネルへの表示はしませんが、時計とアラームの機能は働きます。ただし、アラーム音をラジオに選択してもブザー音しかなりません。電池を入れずにウェーブレディオを使用しても、ウェーブレディオが故障することはありませんが、メモリの内容は保持されません。電池は、必ず1.5Vの単三アルカリ乾電池をご使用ください。

1. ウェーブレディオの天板を傷つけないように布などの上に裏返しにして置いてください。
2. 正面から見て左底部に電池ボックスがあります（右図参照）。
3. 電池カバーの矢印を指で押し、カバーをスライドさせながら本体から外してください。
4. 「＋」や「－」のマークに注意しながら3本の電池をセットしてください。
5. 電池カバーをスライドさせながら、元の位置に戻してください。



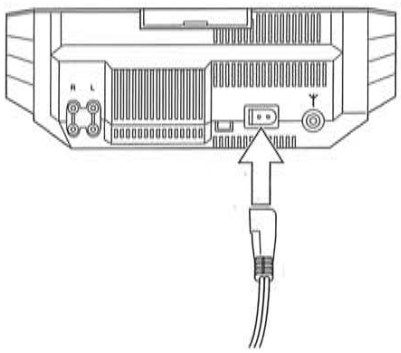
電池収納部の中に表示された「＋」と「－」マークに合わせて、電池を入れてください。

◆電池の交換◆

付属の電池は動作チェック用です。必ず新しい電池をご用意ください。
ウェーブレディオのメモリーと、アラームの誤動作を防ぐため、電池は1年を目安に交換してください。また、約1週間にわたり停電があったり、長い期間電源プラグをコンセントから抜いた場合も電池の交換が必要となります。電池は長い期間入れたまま放置しておくと、液漏れを起こす可能性があり、ウェーブレディオを損傷することがあります。
また、電池を交換する際に、ウェーブレディオの電源プラグをコンセントから抜くと、ウェーブレディオのメモリーの設定内容が消去され、時刻、アラーム、放送局の再登録など再設定が必要となりますのでご注意ください。

電源コードの接続

1. 製品背面の電源ジャックの位置を確認してください。
2. 電源コードをのばしてください。
3. 図のように、電源プラグを製品背面のジャックに差し込んでください。
4. 電源プラグを、電源コンセントにしっかりと奥まで確実に差し込んでください。

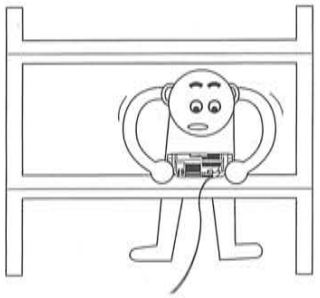


⚠ 注意 FMアンテナは電源コードの中に収められております。FM受信を最良の状態にするため、電源コードは完全にのばしてご使用ください。

ウェーブレディオの快適なFM/AM放送の受信について

◆AM放送のアンテナは内蔵されています◆

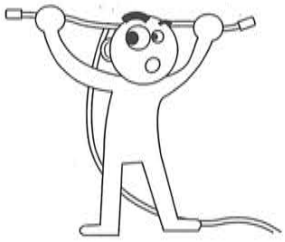
AM放送を受信するにはアンテナが重要な役割を果たします。内蔵されているAMバーアンテナは、比較的ノイズに対して有利ですが、できるだけ本体とノイズ源（パソコン、蛍光灯、マイコンを内蔵している電気機器等）から50cm以上遠ざけて設置するようにしてください。また、本体の向きをいろいろ試して、感度がよくなる方向に向けて置いてください。

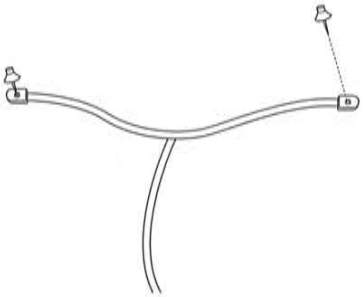


◆FM放送のアンテナは、本体の電源コードです◆

FM放送受信用のアンテナは電源コードの中に収められています。電源コードば、丸めたままにしないで必ず伸ばごしてご使用ください。都市部や、都市近郊などの比較的電波状況の良い地域では、外部アンテナを接続しなくてもFM放送が十分受信できます。外部アンテナを使用したほうがいいか、使わなくてもいいかは、ラジカセ等を使って調べることができます。外部アンテナを使用しなくてもよい場合の大体の目安は、ラジカセ等でFM放送を受信して、受信状況がよい場合は、外部アンテナを使用しなくても、電源コードのアンテナでFM放送の受信が可能です。もしラジカセ等を使って受信状況がよくない場合は、外部アンテナの接続が必要になります。

部屋に共同アンテナの端子が無く、お住まいが近郊の場含、ウェーブレディオに付属されているT型アンテナを使用します。T型アンテナは、押しピンなどで壁などに固定して使用します。丸めたままにしておいたり、垂らしたままにしないで、必ずT字型に伸ばして、複数の放送局の受信状態が最も良くなるように、方向や設置位置を決めてください。FMアンテナはAMアンテナ以上に方向性が重要です。受信状況が不安定な場合、本体の表示部に“STEREO”の表示が点灯と消灯を繰り返すことがあります。





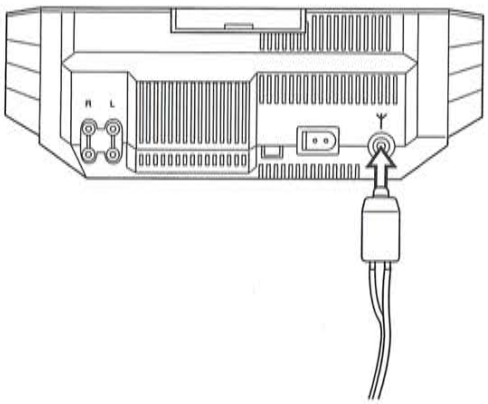
また、「シュワー」とか「ジュワジュワ」というノイズが聞こえる場合はマルチパス障害が発生している恐れがあります。このとき、アンテナ自身の位置と方向を少しづつ変えると、改善できる場合があります。外部アンテナを使用しない場合でも、本体の電源コードの位置を移動すると、受信状況が改善される場合があります。

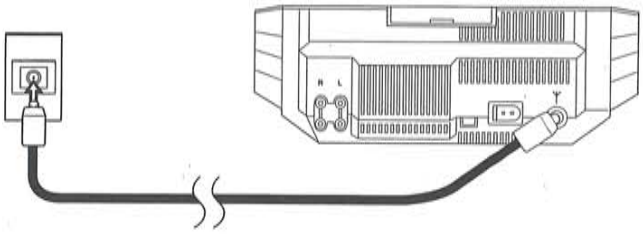
それでも感度が不十分な場合は、お近くの電気店にご相談になって、アンテナ・ブースター（電波の増幅機）等をご使用になることをおすすめします。ブースターをご使用になるときは、ブースターの取扱説明書をよく読んでご使用ください。

◆マンションなどにお住いの方は、共同アンテナを調べてください◆

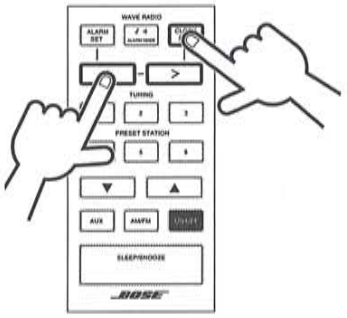
マンション等の集合住宅では、壁にあるアンテナ・コネクタ・コンセントに、FM／TVと明確に表示がない場合があります。TVでも、VHFやUHFの他に、BS/CS放送などの衛星放送の信号も含まれた、共同アンテナシステムや、さらには、ケーブルTVもあり、専門の業者でないと見分けることが困難です。とりあえず、お住まいになっている住宅の管理業者等に、共同アンテナにFMアンテナが組み込まれているかを確認し、もし組み込まれていれば、ウェーブレディオのアンテナ端子とアンテナ・コネクタ・コンセントとを、F型コネククのついた同軸ケーブルで接続ずれば、良好なFM放送の受信が可能です。

とりあえず、共同アンテナにFM放送のアンテナが組み込まれているかを、簡単に調べる方法は、部屋の壁にあるテレビのアンテナ・コネクタ・コンセントに、F型コネクタのついだ同軸ケーブルで、ウェーブレデイオのアンテナ端子と繋げてください。これでFM放送が良好に受信できれば、電気店にてアンテナ・コネクタ・コンセントからの信号を、FMとテレビに分配する“テレビ・FMアンテナ分配器”をご購入いただき、テレビの信号とFMの信号とに分配して、FMアンテナの出力を、ウェーブレディオのアンテナ端子に接続してください。





現在時刻の設定



・図のように CLOCK SET キーを押したままチューニングキー ＜ または ＞ を押して現在時刻に合わせます。

※本体の電源のON／OFFにかかわらず、いつでも時刻合わせができます。

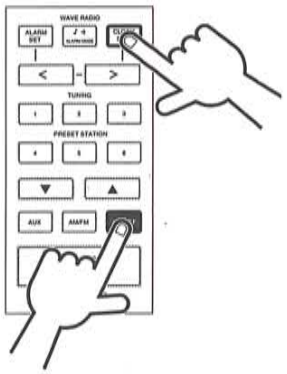
本体の時刻合わせは電源の ON/OFF にかかわらず、いつでもできます。

1. CLOCK SET キーを押しながらチューニングキー ＜ または ＞ を押して現在時刻に合わせます。
2. まず先にチューニングキーから指を離して、最後に CLOCK SET キーから指を離します。

※時計のスタートはチューニングキー ＜ または ＞ から手を離した時点です。

12、24時間表示の切り換えについて

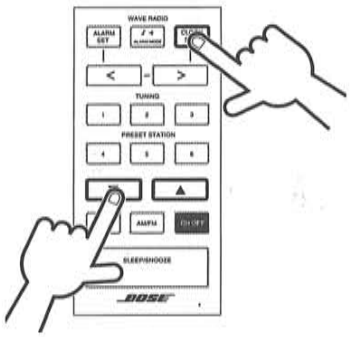
本機は12時間表示か24時間表示のうちお好きな表示方法が選べます。お好きな方をお選びください。



◆12、24時間表示の切り換え方◆

1. 本体の電源が切れていることを確認してください。
   本体の電源が入っている場合は本体上部のON／OFFキーを押して電源を切ってください。
2. 図のように CLOCK SET キーを押しながらON／OFFキーを押すと12時間表示24時間表示が交互に切り換わります。

表示パネルの明るさの微調整



ディスプレー部は周囲の明るさによって、明るく表示する場合（ノーマル）と薄暗く表示する場合（ディム）の2通りの輝度切り換えを自動的に行ないます。

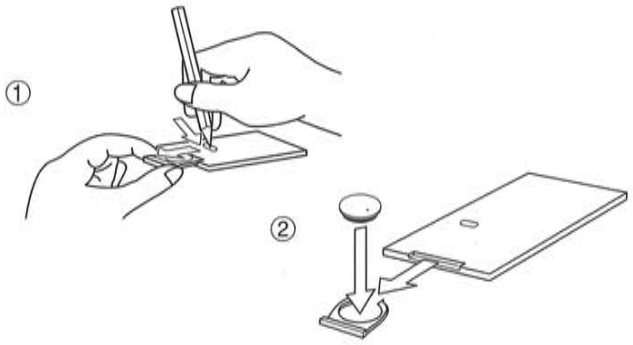
ディム時の表示の明るさは微調整が可能です。

微調整の方法は図のように CLOCK SET キーを押しながらボリュームキー▲ 、▼を押すことで調整ができます。

※本体の電源のON／OFFにかかわらずいつでも調整できます。

リモコンの使い方

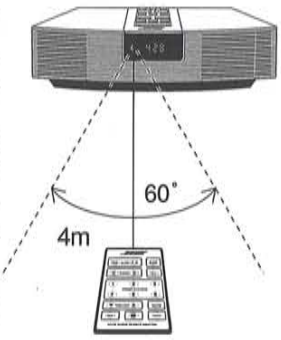
◆電池の入れかた◆



①リモコンを裏返しにします。
②ボールペンなどの先のとがったものや指の爪などを使って図のように電池ホルダーを引き出します。
③ホルダーに電池を入れます。⊕側が上になるように電池ホルダーに乗せます。電池の上下を間違えないように気を付けてください。
④ホルダーを元にもどします。

◆リモコンの動作範囲◆

リモコンの電池が消耗するとリモコンの動作範囲が狭まってきて効きが悪くなってきます。このような症状がでてきたらリモコンの電池を交換してください。電池を交換する場合、電池の型番（CR2025）にご注意ください。違うタイプのものをご使用になると動かないばかりでなく機器の故障の原因になりますので必ず同じ型番の電池をご使用ください。



◆リモコンキーの名称と使い方◆

リモコンキーの操作仕様

①TIMEキー
アラーム時刻を設定したり、アラームの内容を確認するとき使用します。

②アラームセットキー
アラームをセットしたり、アラーム音を選ぶときに使用します。

③＜周波数DOWNキー
放送局を選ぶときに使用します。また、時刻を合わせるときも使用します。

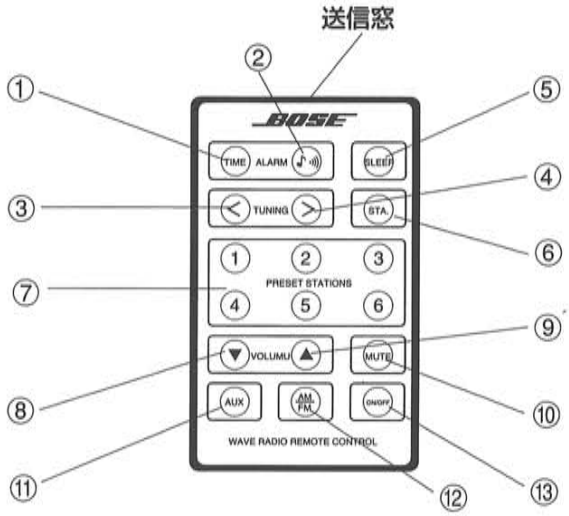
④＞周波数UPキー
放送局を選ぶときに使用します。また、時刻を合わせるときも使用します。

⑤スリープキー
このキーを押してスリープ機能を働かせます。リモコンでスヌーズ機能を使うときにも使用します。

⑥STA.キー
現在聴いている放送局の周波数を確認するときに使います。

⑦数字キー
放送局を1～6までの数字に登録します。

⑧▼音量DOWNキー
押し続けている間音量が小さくなります。



⑨▲音量UPキー
押し続けている間音量が大きくなります。

⑩ミュートキー
一時的に消音します。解除するにはもう1度このキーを押すかON／OFFキーを押します。

⑪AUXキー
AUX INに接続された機器を聴くときにこのキーを、押して入力を切り換えます。本体の電源を入れるときにも使えます。

⑫AM／FMキー
AM放送とFM放送を切り換えるときに使います。本体の電源を入れるときにも使えます。

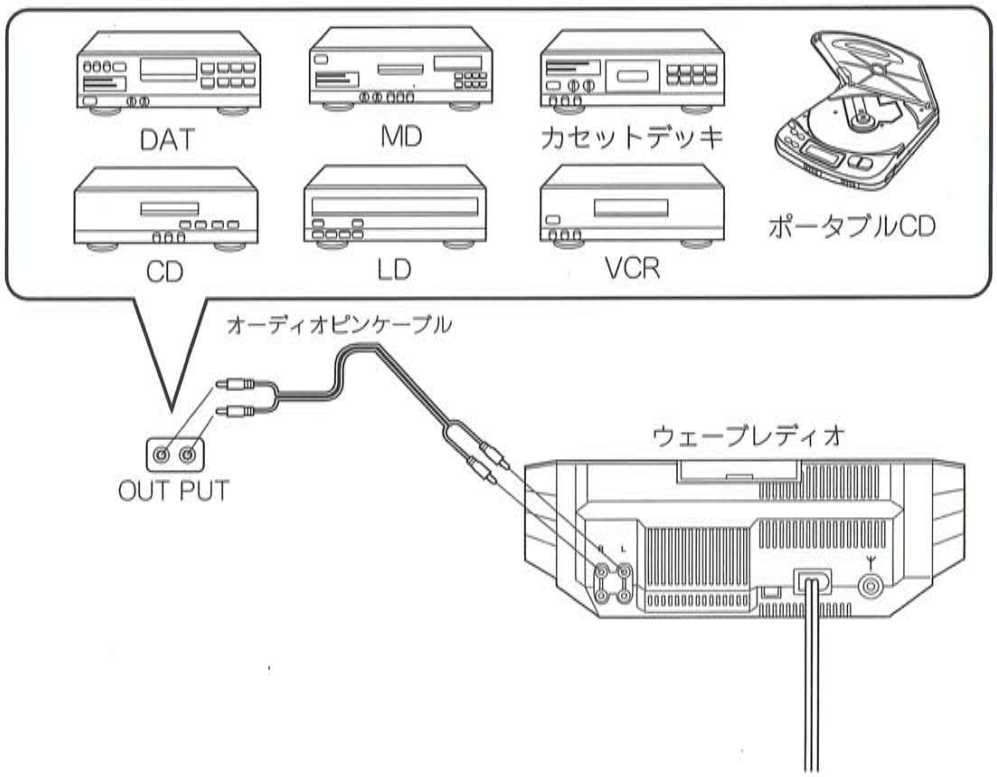
⑬ON／OFFキー
本体の電源をON／OFFするとき使います。アラームを止めるときにも使用します。

⚠警告
リモコン用の電池は、正しい取り扱いを行なわない場合、火災を起こしたり、科学物質で皮膚を犯される結果となることがあります。幼児には触れさせないよう十分にご注意ください。
また、分解や充電、焼却を行なったり、100度以上の熱を与えないようにしてください。交換の際には、上に記載された電池のみご使用ください。異なる製品を使用した場合、火災や爆発の原因になることがあります。

外部機器との接続

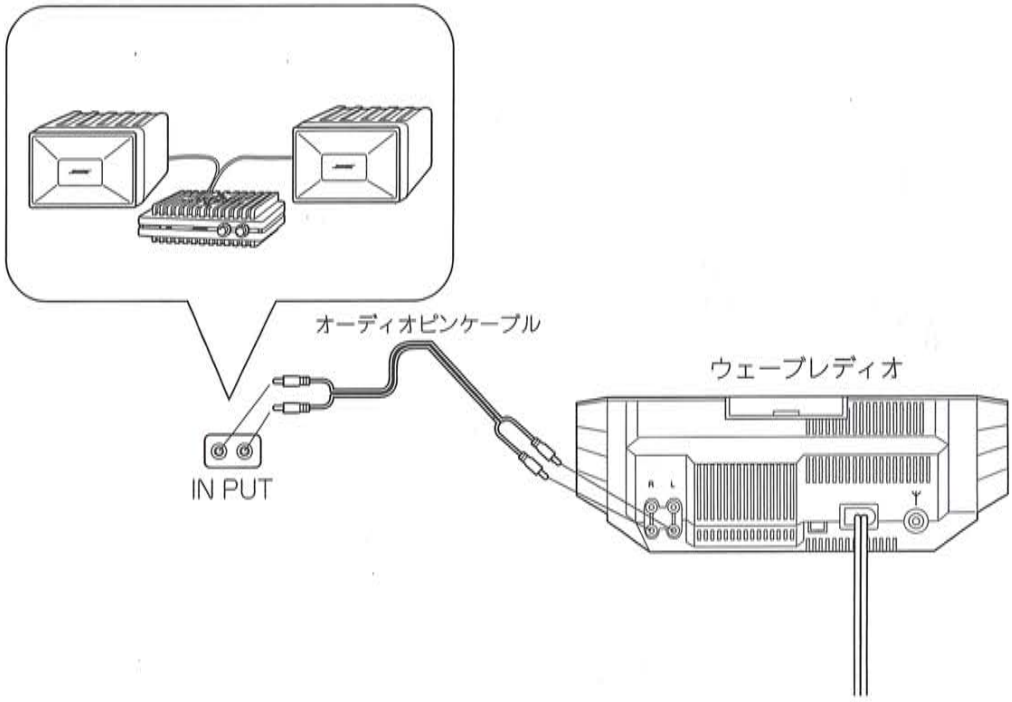
AUXに外部機器をつないでください

背面のAUX INに市販のオーディオピンケーブルを使って、外部の機器の出力端子と接続します。



外部にパワーアンプとスピーカーをつなげて楽しむとき

図のようにVARIABLE OUT（バリアブル アウト）端子と外部のパワーアンプを市販のオーディオピンケーブルを使って、接続します。



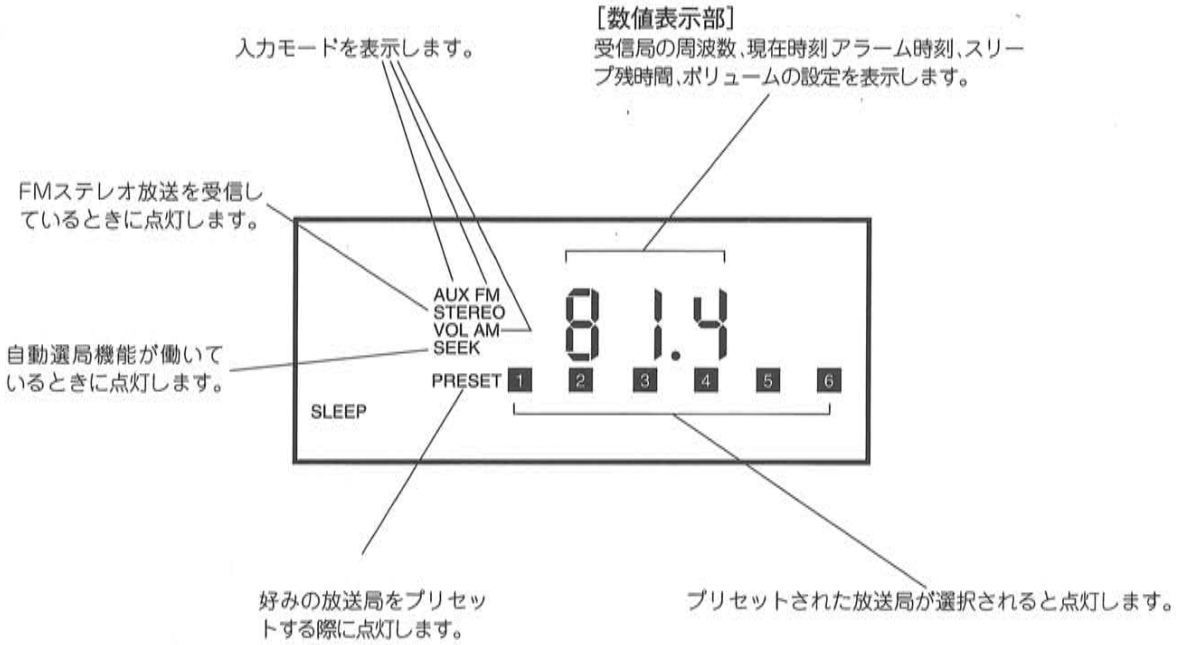
※VARIABLE OUT端子のR ch にオーディオピンケーブルを差し込むと自動的に本体からの音が止まります。

※この端子から出力される音量は本体の音量に連動して変化しますので、録音などには適しません。

表示パネルについて

◆時計モード時の表示内容◆

◆ラジオ関連の表示内容◆

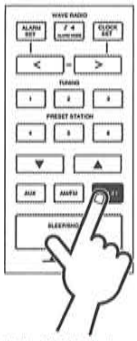


機　能

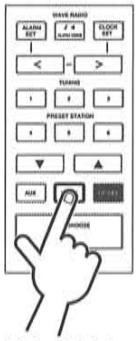
◆電源ON／OFFのしかた◆

電源の入れかた（4通り）

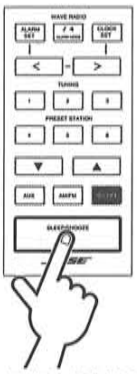
本体での操作



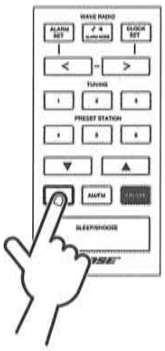
ON／OFFキーを押す



AM／FMキーを押す



SLEEP／SNOOZEキーを押す

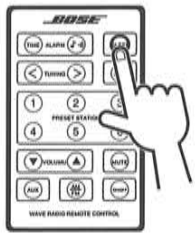


AUXキーを押す

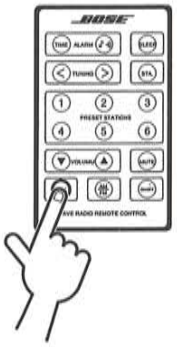
リモコンでの操作

ON／OFFキーを押す

AM／FMキーを押す



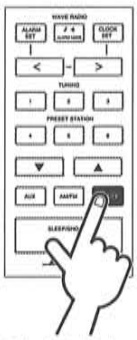
SLEEPキーを押す



AUXキーを押す

電源の切りかた

本体での操作



ON／OFFキーを押す

リモコンでの操作

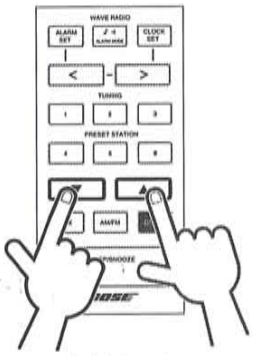
ON／OFFキーを押す

◆音量調節のしかた◆

音量調節のしかた

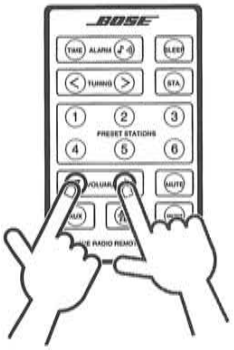
▼キーを押すと音量が下がります。▲キーを押すと音量が上がります。
0：最小レベル
99：最大レベル

本体での操作



▼または▲キーを押す

リモコンでの操作



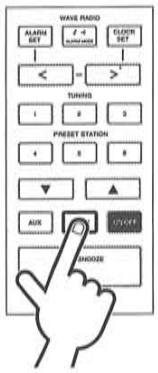
▼または▲キーを押す

◆ラジオの聴き方◆

AM/FMの切り換えについて

ラジオを聴いている時にAM／FMキーを押します。
※ラジオを聴いていない時や、AUXを聴いている時は一度AM／FMキーを押してラジオモードにしてから下記の操作を行ないます。

本体での操作



AM／FMキーを押す

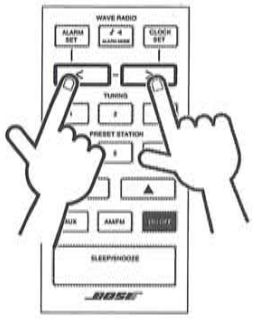
リモコンでの操作

AM／FMキーを押す

選局のしかた（自動選局）

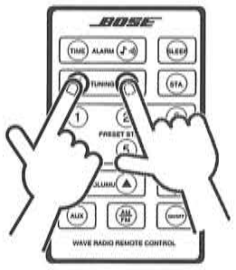
＜ か ＞をピーという音がするまで押しつづけてください。音がしたら手を離してください。自動選局がはじまります。

本体での操作



＜もしくは＞キーを押す

リモコンでの操作



＜もしくは＞キーを押す

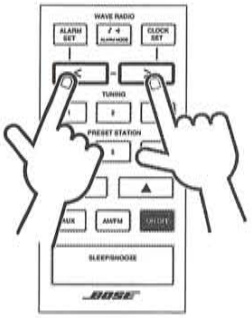
選局のしかた（手動で選局）

自動選局中に＜または＞キーをおすと、選局が止まります。＜または＞キーを1回づつ押してお好きな放送局の周波数に合わせてください。

注：AM受信の場合、内蔵のAMアンテナを使用します。本体の向きを変え、受信感度を調節してください。

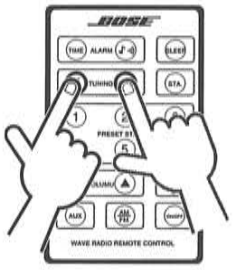
注：FM受信の場合、本機のFMアンテナは、電源コードに内蔵されています。電源コードを動かして、受信感度を調節してください。内蔵アンテナで満足な受信感度が得られない場合は、外部アンテナを接続すると、感度が改善されることがあります（7〜8ページ参照）。

本体での操作



＜ もしくは ＞キーを押す

リモコンでの操作

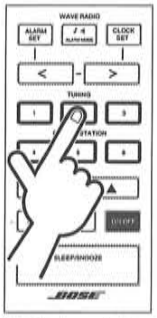


＜ もしくは ＞キーを押す

放送局の登録（周波数のメモリー）のしかた

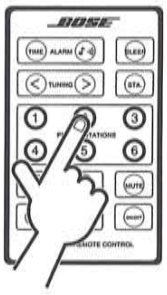
まず、お好みの放送局を受信し、次に、ピピッという音が鳴るまで、登録したい数字キーを押し続けてください。

本体での操作



数字キーを押す

リモコンでの操作

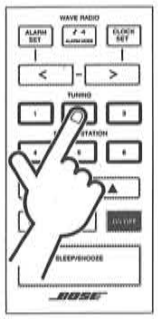


数字キーを押す

登録した放送局の呼び出しのしかた

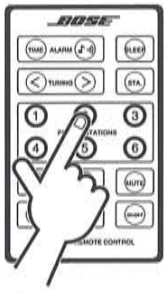
数字キーを押し、登録済みの放送局を選択してください。

本体での操作



数字キーを押す

リモコンでの操作

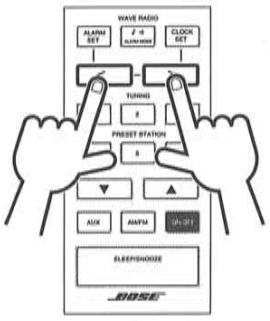


数字キーを押す

現在聴いている放送局の確認のしかた

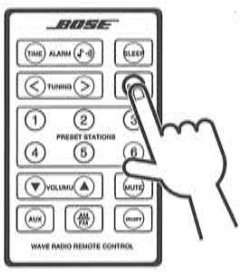
これら両方のキーを同時に押すと、現在受信している周波数が表示されます。数秒後、時計表示に戻ります。リモコンで使用する場合は、STA.キーを押してください。

本体での操作



<キーと>キーを同時に押す

リモコンでの操作



STA.キーを押す

◆時計の機能について◆

●目覚まし機能について

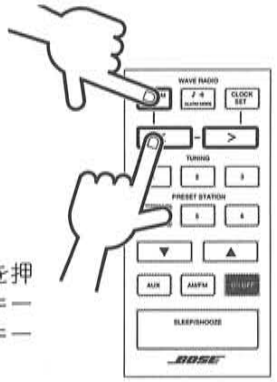
アラーム（ALARM）時刻の設定

（本体で使用する場合）ALARM SET キーを押しながらTUNINGの<キーか>キーを押してください。時間表示がゆっくりと変わり始め、だんだんスピードが速くなっていきます。指をキーから離すとストップしますので、合わせたい時刻を表示させます。

注：アラームの時刻を設定する時は、本体の電源をオンにする必要はありません。

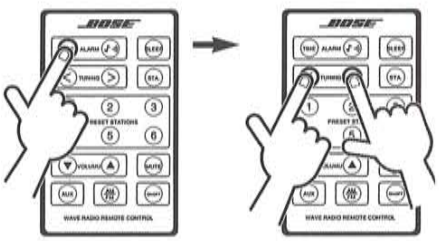
（リモコンで使用する場合）TIMEキーを押してください。ALARM SET 表示が点滅します。TUNINGの<キーか>キーを押してください。時間表示がゆっくりと変わり始め、だんだんスピードが速くなっていきます。指をキーから離すとストップしますので、合わせたい時刻を表示させます。

本体での操作



ALARM SET キーを押しながら<キーもしくは>キーを押す

リモコンでの操作



TIMEキーを押す

<キーもしくは>キーを押す

アラーム（ALARM）のセットおよびアラーム音の設定

アラームは設定時刻になると選択した音で音量がだんだん大きくなりながら設定したレベルまで大きくなり続けます。

1.アラームをセットします。

本体､リモコン両方とも ♪·)) キーを押して “♪” 、“·))” もしくは “♪·))” を表示させてください。1回押すと “·))” が表示され、もう1回押すと “♪” が表示され、さらにもう1回押すと “♪·))” が表示されます。

※ “♪”、“·))”、“♪·))” を表示していない場合はアラームとして機能しません。

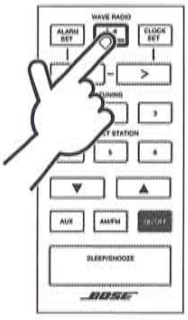
2.アラーム音を選びます

“♪” の場合は最後に聴いていたラジオが設定時刻に鳴り出します。

“·))” の場合はブザー音が設定時刻に鳴り出します。

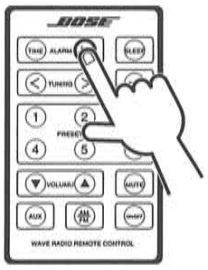
“♪·))” の場合はブザー音が鳴り次にラジオの音が鳴りますがくわしい動作は “スヌーズ機能について” をごらんください。

本体での操作



♪·)) キーを押す

リモコンでの操作



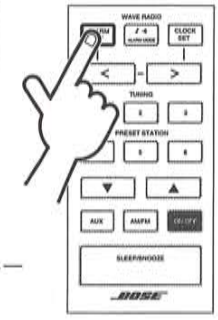
♪·)) キーを押す

アラーム（ALARM）の確認

本体の ALARM SET キーを押してください。

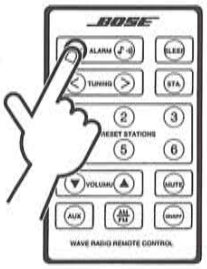
リモコンの場合はTIMEキーを押してください。

本体での操作



ALARM SET キーを押す

リモコンでの操作



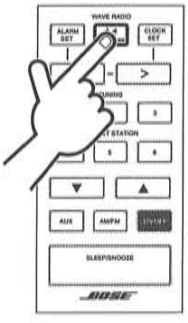
TIMEキーを押す

アラーム（ALARM）の解除

アラームをセットするときと同様に操作して表示パネルから“♪”、“·))”、“♪·))”すべてを消してください。

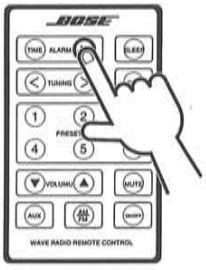
※アラームが鳴っているときに♪·))キーを押しても解除できます。

本体での操作



♪·)) キーを押す

リモコンでの操作



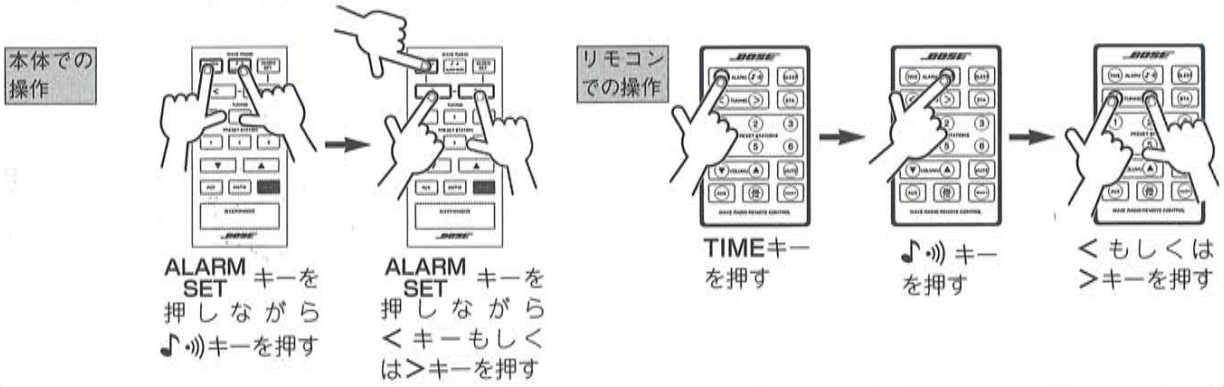
♪·)) キーを押す

アラーム 2（ALARM 2）時刻の設定

（本体で使用する場合） ALARM SETキーを押しながら♪·))キーを押してください。表示部右下にALARM 2の表示が点滅をはじめます。ALARM SETキーを押しながら**TUNING**の<キーか>キーを押してください。時間表示がゆっくりと変わり始め、だんだんスピードが速くなっていきます。指をキーから離すとストップしますので、合わせたい時刻を表示させます。

注：アラームの設定時は、本体の電源をオンにする必要はありません。

（リモコンで使用する場合） **TIME**キーを押してください。次に♪·))キーを押します。表示部右下にALARM 2の表示が点滅をはじめます。**TUNING**の<キーか>キーを押してください。時間表示がゆっくりと変わり始め、だんだんスピードが速くなっていきます。指をキーから離すとストップしますので、合わせたい時刻を表示させます。



アラーム 2（ALARM 2）のセットおよびアラーム音の設定

アラームは設定時刻になると選択した音で音量がだんだん大きくなりながら、設定したレベルまで大きくなり続けます。

1. アラームをセットします。

（本体で行なう場合）

① ALARM SET キーを押しながら♪·))を押します。
表示部右下にALARM 2の表示が点滅をはじめます。

② 点滅をはじめたらキーから手をはなしてください。

③ 点滅はしばらく続いています（約10秒）ので、その間に♪·))を押して“♪”、“·))”もしくは“♪·))”を表示させてください。♪·))キーは1回押すと“♪”が表示され、もう1回押すと“·))”が表示され、さらにもう1回押すと“♪·))”が表示されます。

※ “♪·))”、“♪”、“·))”を表示していない場合はアラームとして機能しません。

（リモコンで行なう場合）

① **TIME**キーを押します。

② ♪·))を押します。表示部右下にALARM 2の表示が点滅をはじめます。

③ 点滅をはじめたら**TIME**キーを押してください。表示部の時刻が現在の時刻に変わります。

④ ♪·))キーを押して“♪”、“·))”もしくは“♪·))”を表示させてください。♪·))キーは1回押すと“·))”が表示され、もう1回押すと“♪”が表示され、さらにもう1回押すと“♪·))”が表示されます。

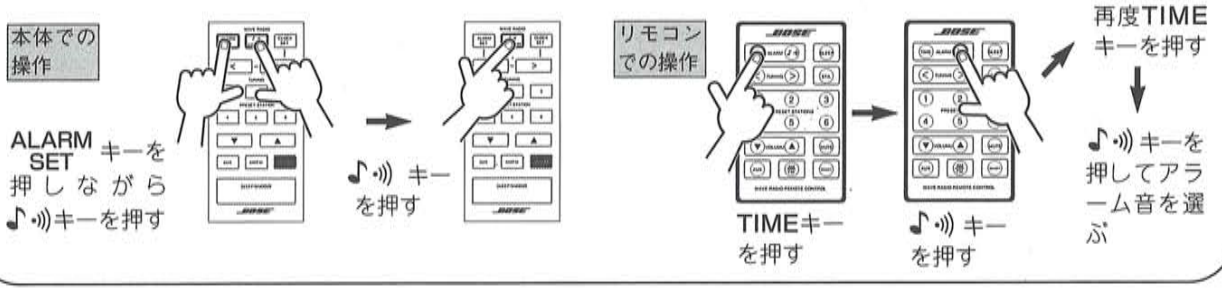
2. アラーム音を選びます

“♪”の場合は最後に聴いていたラジオが設定時刻に鳴り出します。

“·))”の場合はブザー音が設定時刻に鳴り出します。

“♪·))”の場合はブザー音が鳴り次にラジオの音が鳴ります。くわしい動作は“スヌーズ機能について”をごらんください。

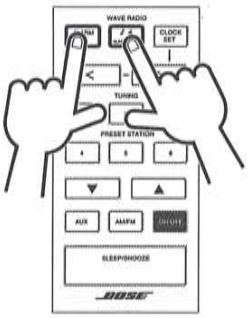
※ “♪·))”、“♪”、“·))”を表示していない場合はアラームとして機能しません。



アラーム2（ALARM 2）の確認

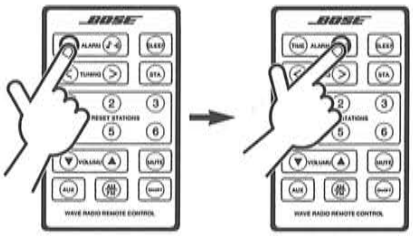
本体の ALARM SET キーを押しながら ♪·)) キーを押します。
リモコンの場合は、TIMEキーを押して、♪·)) キーを押します。

本体での操作



ALARM SET キーを押しながら ♪·))キーを押す

リモコンでの操作

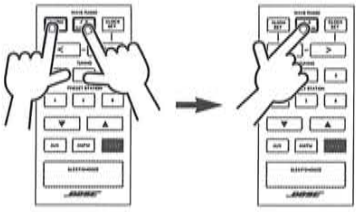


TIMEキーを押す　　♪·)) キーを押す

アラーム 2（ALARM 2）の解除

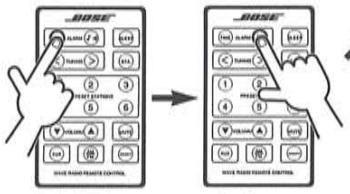
アラーム2をセットするときと同様に操作して表示パネルからALARM 2の“♪”、“·))”、“♪·))”を消してください。

本体での操作



ALARM SET キーを押しながら ♪·))キーを押す　　♪·)) キーを押す

リモコンでの操作



TIMEキーを押す　　♪·)) キーを押す

再度TIMEキーを押す

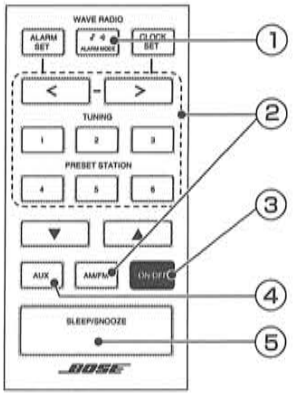
♪·))キーを押して“♪”、“·))”、“♪·))”を消してください

アラーム 音の止め方

目覚まし機能が働いているときに押すキーと、キーを押したときの動作について

●アラームが動作しているとき

①のキーを押すと、アラーム音が止まり、電源が切れて、アラームの設定が解除されます（再度セットしないとアラームは動作しません）。
②のキーを押すと、アラーム音が止まり、そのままラジオが鳴りつづけます。翌日同じ時刻にアラームが鳴り出します。
③のキーを押すと、アラーム音が止まり、電源が切れます。翌日同じ時刻にアラームが鳴り出します。
④のキーを押すと、アラーム音が止まり、そのままAUXから入力された信号が、鳴りつづけます。翌日同じ時刻にアラームが鳴り出します。
⑤のキーを押すと、アラーム音が止まり、一定時間後に再びアラーム音が鳴り出します。



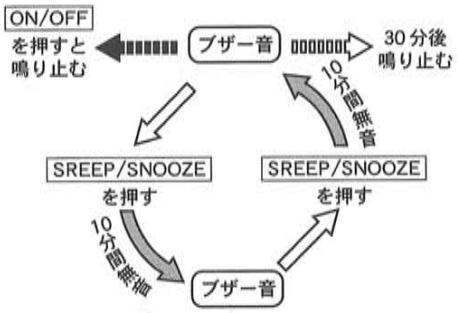
●アラーム2が動作しているとき

①のキーを押すと、アラーム音が止まり、電源が切れます。翌日同じ時刻にアラームが鳴り出します。
②のキーを押すと、アラーム音が止まり、そのままラジオが鳴りつづけます翌日同じ時刻にアラームが鳴り出します。
③のキーを押すと、アラーム音が止まり、電源が切れます。翌日同じ時刻にアラームが鳴り出します。
④のキーを押すと、アラーム音が止まり、そのままAUXから入力された信号が、鳴りつづけます。翌日同じ時刻にアラームが鳴り出します。
⑤のキーを押すと、アラーム音が止まり、一定時間後に再びアラーム音が鳴り出します。

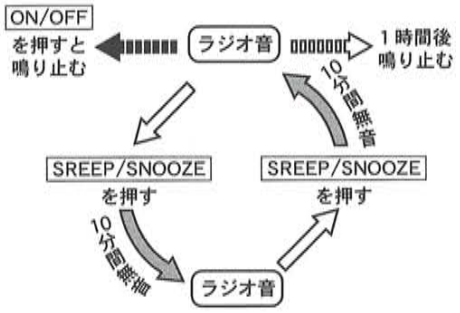
スヌーズ機能について

ブザー音かラジオ音のどちらか片方をアラーム音として設定し、そのアラーム音が鳴っている最中にこのキーを押すとアラームが鳴り止み、10分後に再度鳴ります。

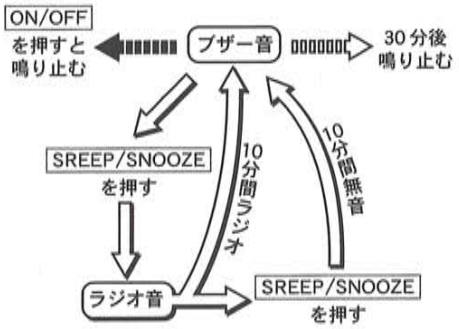
ブザー音にセットした場合



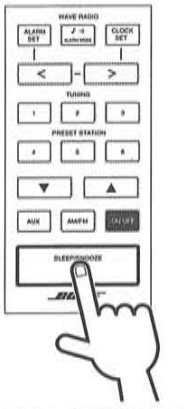
ラジオ音にセットした場合



アラームがブザー音＋ラジオ音に設定されている場合は、このキーを押すとブザー音が鳴り止み、ラジオを聴くことができます。ブザー音は10分後にもう1度鳴り出します。また、ラジオを聴いている時に、このキーをもう1度押すと、ラジオの音を消すことができます。

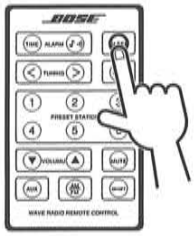


本体での操作



SLEEP／SNOOZE
キーを押す

リモコンでの操作

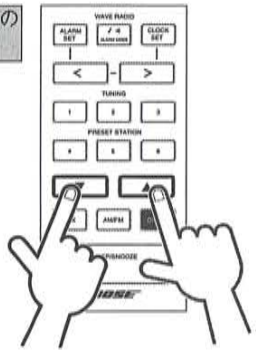


SLEEPキーを押す

アラームの音量の設定のしかた

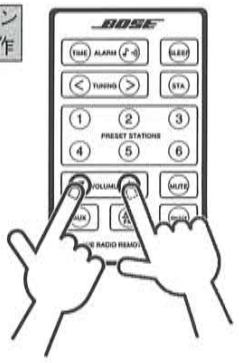
アラーム時刻の設定と、アラームのセットおよびアラーム音の設定の手順に沿ってブザー音を選択し、ブザーがすぐに鳴り出すよう、アラーム時刻をセットしてください。ブザーが鳴っている間に**VOLUME**キーで音量を調節してください。音量が決まったら**ON／ OFF**キーを押してアラームを止めます。
アラーム音をラジオに設定している場合は、14ページに示した方法で、ラジオの音量を設定してください。

本体での操作



▼もしくは▲キーを押す

リモコンでの操作

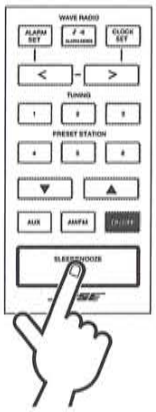


▼もしくは▲キーを押す

スリープ機能について

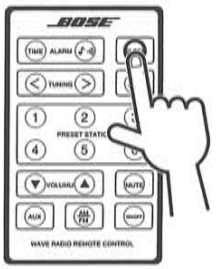
このキーを1度押すとスリープ機能が起動し、75分間で自動的に電源が切れます。このキーを押すたびに図－Aのように残り時間が変化します。（最長75分間）

本体での操作

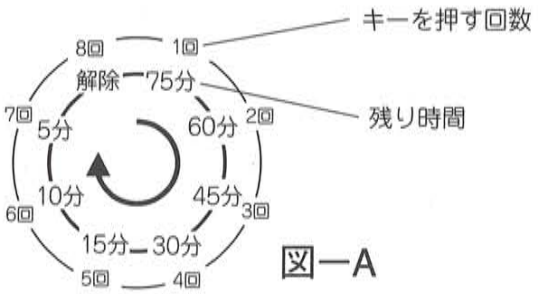


SLEEP／SNOOZE
キーを押す

リモコンでの操作



SLEEPキー
を押す

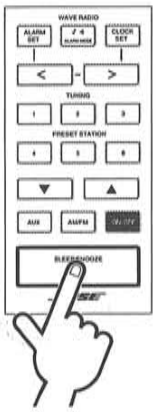


図－A

スリープ機能の解除のしかた

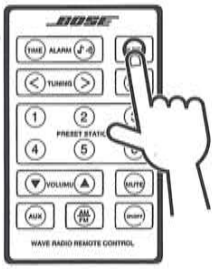
（本体で解除する場合）
SLEEP／SNOOZEキーを表示が00になるまで押してください。また、ON／OFFキーを押して電源を切っても解除されます。
（リモコンで解除する場合）
SLEEPキーを表示が00になるまで押してください。また、ON／OFFキーを押して電源を切っても解除されます。

本体での操作



SLEEP／SNOOZE
キーを押す

リモコンでの操作



SLEEPキー
を押す

仕　様

サ イ ズ …… 11.4×35.6×20.3cm
重　　さ …… 3.2kg
定格入力 …… 100V AC　50/60Hz

故障の場合のお問合わせ先

故障および修理のお問い合わせはボーズ株式会社、修理担当部門までご連絡ください。

~~TEL　03−5489−1056~~ 2004年11月に移転になっております

ボーズ・サービスセンター株式会社
修理部門：　0120-235-250
パーツ部門：042-357-5260
〒206-0035
東京都多摩市唐木田　1-53-9
唐木田センタービル

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

BOSE®
Better sound through research®
ボーズ株式会社
〒150 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル　TEL 03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱い以外の製品につきましては、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1041
96・10-2K-D・2(I-M)